

情報通信アクセス協議会の 活動概要

 情報通信アクセス協議会

情報通信アクセス協議会
(事務局)一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会
マルチメディアソリューション部

© 2004 Info-Communication Access Council p1

本日のメニュー

 情報通信アクセス協議会

1. 協議会発足の経緯
2. 協議会の目的
3. 協議会の構成
4. 協議会の活動概要

© 2017 Info-Communication Access Council p2

1. 協議会発足の経緯

情報通信の利用による高齢者・障害者の福祉を増進することを目的に、

- 総務省(旧郵政省)と厚生労働省(旧厚生省)の合同による「ライフサポート情報通信システム推進研究会」の開催
- 最終報告書(2000年6月)における2つの提言
 - (1) 高齢者・障害者の情報通信の円滑な利用を可能とするために電気通信設備が備えるべき機能を示す“電気通信設備のアクセシビリティ指針”の策定
 - (2) その指針の普及・定着・見直し等を実施するために関係機関による運営協議会の設置

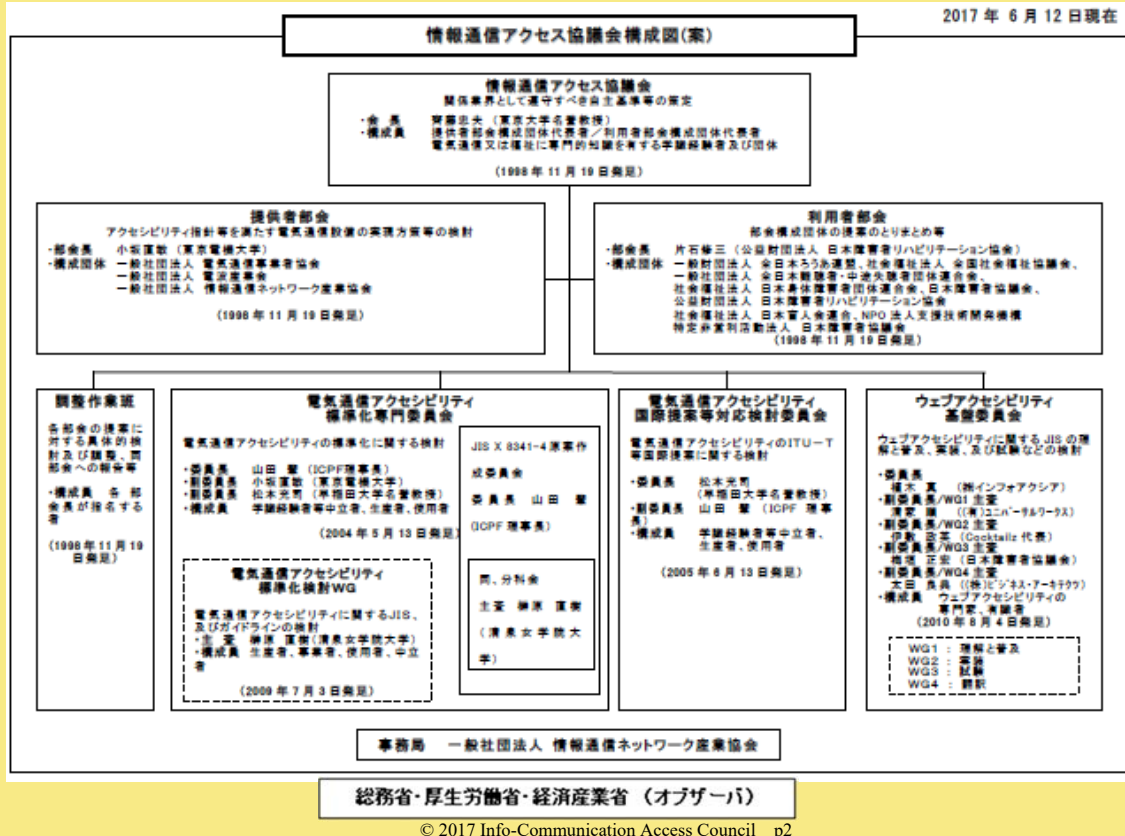
(1)については、郵政省(現総務省)が「障害者等電気通信設備アクセシビリティ指針」を作成し、平成10年10月30日郵政省告示第515号で告示。

(2)については、情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)が設立発起事務局となり、電気通信の提供者団体、利用者である障害者・高齢者団体及び学識経験者による「電気通信アクセス協議会」を1998年11月19日発足。(2003年7月16日「情報通信アクセス協議会」と改称)

2. 協議会の目的

障害者・高齢者を含む全ての者が電気通信設備及びサービスを円滑に利用可能なものとする(アクセシビリティを確保する)ことを通じて、我が国の電気通信の均衡ある発展に貢献する。

3. 協議会の構成



4. 協議会の活動概要

(1)「障害者等電気通信設備アクセシビリティガイドライン第1版」の制定 (2002年7月6日)

- 電気通信設備及びサービスの企画・開発・設計にあたってアクセシビリティ上考慮すべき事項について自主的指針として規定。
- アクセシビリティシンボルマークの制定
商品選択の容易性等を目的にパンフレット、取扱説明書、製品本体等に記載



üはユニバーサルであることを現し、二つの●は、人と人の触れ合い、コミュニケーションや、作り手と利用者の良好な関係を表現しています。

- アクセシビリティ考慮商品の公表促進
情報通信アクセス協議会ホームページ等によるアクセシビリティ考慮商品の公表

URL: <http://www.ciaj.or.jp/access/>

4. 協議会の活動概要

ü 情報通信アクセス協議会

アクセシビリティ考慮商品例



ハウディ・コードレスホン ハートメイト
(NTT西日本)



コードレス骨伝導電話機
(SANYO)

© 2017 Info-Communication Access Council p2

4. 協議会の活動概要

ü 情報通信アクセス協議会

アクセシビリティ考慮商品例

FOMAらくらくホン F880iES
(NTTドコモ)



らくらくホンⅢ F672i
(NTTドコモ)



骨伝導携帯電話機 TS41
(ツーカーグループ)



© 2017 Info-Communication Access Council p2

4. 協議会の活動概要

(2) ウェブアクセシビリティ向上の取組み

インターネットの普及の進展



ウェブで提供されるコンテンツのアクセシビリティ確保が重要な課題

- JIS X 8341-3(高齢者・障害者等配慮設計指針 情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス:ウェブコンテンツ)の普及
ーセミナー開催、HPでのQA対応。
- 公的機関、一般企業におけるウェブアクセシビリティ方針策定と試験結果表示の実態調査
ー自主的に年4回実施。

4. 協議会の活動概要

(3) 標準化へ他団体活動への参画

各団体様で活動する委員会に代表者が参画
しています。

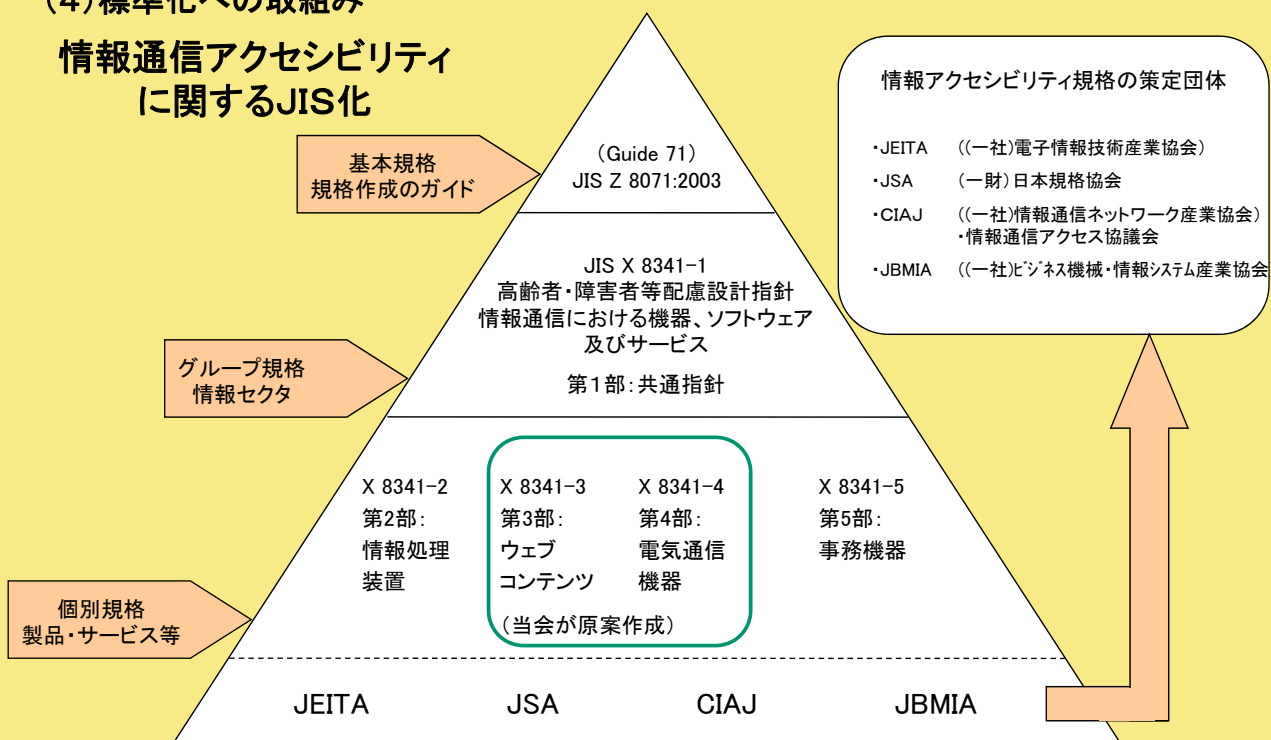
- ・(公財)共用品推進機構様
- ・(一社)ビジネス機械・情報システム産業協会様

4. 協議会の活動概要

ü 情報通信アクセス協議会

(4) 標準化への取組み

情報通信アクセシビリティ に関するJIS化



© 2017 Info-Communication Access Council p2

ご清聴ありがとうございました。

ü 情報通信アクセス協議会



© 2004 Info-Communication Access Council p12